

いちょう 公孫樹

- ◇ 指定日 昭和32年12月25日
- ◇ 所在地 宮町(第一中学校)
- ◇ 所有者 宮古市

宮古市立第一中学校の校庭内にある古木で、樹齢は明らかではありません。根元の周囲は約12.4m、高さは18.5mにも及び、枝は幹から四方に10mほど広がっています。

その昔、横山八幡宮の禰^ね宜^ぎが阿波の鳴門の怒濤を止めて帰郷し、旅の杖を地面について立てておいたところ、根がついてイチョウの木になった、という伝説から「さかさイチョウ」とも呼ばれています。

公孫樹はイチョウの漢名で、老木にならないと身を結ばないことから、孫の代に実る樹木という意味でこのように表されています。独特の葉の形から、日本髪型の型や衣服などの文様として、古くから日本人に親しまれてきた樹木といえます。



公孫樹の葉